

タイトル「置き土産」

～「黒後家蜘蛛の会」のpasteーシユシナリオ 素案～

あらすじ① ホストとゲスト

ホスト： マリオ・ゴンザロ

ゲスト： 男性、50代、大手香料会社の管理職(元調香師)

料理： エスカルゴ、オリーブオイル(コートダジュール(香水名産地
グラス) 地方風)

ホストとゲストの関係： マリオは、ゲストが手掛けた香水の瓶をデザインした。

あらすじ② 事件

事件のキー人物： ゲストの元部下・天才調香師

事件の謎： 天才調香師が、同業他社への転職直前、ゲストの職場に「置き土産」として残していった一本の香水。その「置き土産」の ”趣向・意趣・天才調香師が意図したところ” が、ゲストには判らなくて困っている。

事件のキーアイテム香水の特徴の例：

- 商品ではなく、試作品なので、パッケージなどはない。
- ・ 変わったかたちのガラス瓶に入っている
(指ではじくと、ふしぎな音がする)
- ・ シンプルな白地のラベルに、謎の文字と記号が記されている
- ・ 香りは複雑玄妙。ゲストが調べたところ、とても多くの香料が使われている

あらすじ③ 事件を解きたい理由

事件を解きたい理由①:

「置き土産」として残された香水の香りが素晴らしい。できれば商品化したい、とゲストは思っている。

しかし、そこに天才調香師の罫がひそんでいて、商品化されたとたんに、その罫が問題になるようでは、困る、とゲストは思っている。

事件を解きたい理由②:

ゲストは、天才調香師が転職した後に、とある会で彼に会う。その場で、不可解な言葉を投げかけられた。

事件の答え① ヘンリーの答え

事件のこたえ：（すいません、まだ考えていません…。）

事件のこたえを考えるときに必要なこと①：

香水は、1本あるだけで、人間の感覚・五感のうち、味覚以外の四感をフルに使って楽しめる。

事件のこたえを考えるときに必要なこと②：

香水は、1本あるだけで、トップノート>ミドルノート>ラストノートと、時間の経過で3つの香りが楽しめる。

（ヘンリー以外のメンバーが次々に出していくトラップ回答も、用意しやすいと思えて、この筋書きを思いつきました。）

事件の答え② ヘンリー以外のメンバーが出す回答例

- アヴァロン … 他社の特許を侵害する化学物質が利用されている？
- トランブル … 瓶のラベルに残された文字&記号を暗号として読む。
- ルービン … ・香りに使われている花の「花言葉」を探る。
・香りに使われている草花にまつわる物語を引用する。
- ドレイク … 香りに使われている化学物質について、所見を述べる。
- ゴンザロ … 天才調香師にも会ったことがある。彼の顔の特徴から所見を述べてみたりする。
- ホルステッド … ・瓶のかたちを数学的に説明する。
・使われている素材の種類と数(花はいくつ、そのほかの材料はいくつ…) を数学パズルとして説明する。

その他・衒学的な事項

- ◎ 香水は年間400種前後が発売されている激戦市場
- ◎ 天才的な調香師は、ネ(鼻)と呼ばれ、大変な地位を保っている。
- ◎ ほとんどの香水は、「ビッグボーイズ」と呼ばれる世界の7社(うち1社は日本の会社「高砂香料」)で作られている。
(高級ブランドや芸能人の名を冠したような香水は、それら7社のうちどこかに委託されて作られることが多い。)
- ◎ 現在では生の草花から香水が生成されることは殆ど無い。香水づくりというのは、複雑な化学物質の新開発競争という側面ももつ。

以上、おもにノンフィクション「匂いの帝王」という本からの知識です。

話のオチ案

① ほのぼのオチ

「元部下の調香師から、ゲストに向けた好意」が香水に隠されたメッセージだった場合。

①-1 元部下が女性だった（男性であるというミスリードを誘って
おいて、最後にヘンリーのひとことで どんでん返す）

①-2 元部下は男性でありゲイであったという結末

② 後味の悪いオチ

「悪意」が香水に隠されたメッセージだった場合。

②-1 ゲストが犯していた不正を告発する内容

②-2 元部下は金銭面での待遇に不満があった。「けちやろう」と
いうような内容。（「ふ」（すもも＝プラム）と「や」のつく香料を足して、
「けちやふやろう」として商品化すればよい、と助言する蜘蛛の会
面々。伏線として、なんにでもケチャップをかける味音痴の元部下、
というようなエピソード。）